



# 企業訪問レポート

## 未来にチャレンジする熱いハートを持った健康開発企業

田村薬品工業株式会社 大阪市中央区

医薬品の開発・製造を礎にあらゆる要望に応える総合受託メーカーの田村薬品工業株式会社。

健康づくりに役立つ商品を追求する同社は、すべての製品を医薬品レベルのGMP基準（医薬品製造基準）に則った工場で製造している。

創業70年以上の医薬品メーカーとしてのこだわりを残しつつ、「医薬を基本に健康を創造し、健康を提供する企業を目指す」をモットーに創薬体制の刷新、受託事業の拡充を図り、お客様の要望に迅速に対応できる体制を整えてきた。いつまでも若さを失わない、若い心を持った企業として、これからも健康開発企業への挑戦を続けていく。

### 会社概要



会社名：田村薬品工業株式会社  
所在地：大阪市中央区道修町2丁目1番10号  
電話：06-6203-4881  
FAX：06-6203-4875  
創業：1934（昭和9）年  
設立：1948（昭和23）年7月  
代表者：代表取締役社長 田村 恵昭しげあき  
資本金：6,000万円  
従業員：204名  
事業内容：医薬品・医薬部外品の製造並びに販売、食品及び清涼飲料水の製造並びに販売、医療機器の製造並びに販売、薬草栽培、その他以上に関する業務  
URL：<http://www.tamura-p.co.jp>

### 薬の町「道修町」から健康開発ネットワークを拡大

薬の町<sup>どしょうまち</sup>「道修町」の少彦名神社<sup>すくなひこな</sup>（薬の神様）の隣に本社を構える田村薬品工業株式会社は、1934年奈良県御所市に創業以来、「未来にチャレンジする健康開発企業」を事業目的として、健康維持・増進に貢献できる独創的な製品を数多くお客様に提供し、業容を拡大してきた。



同社の代表的な液剤ラインナップ

社長の田村恵昭氏<sup>しげあき</sup>（69歳）は、1989年に創業者である父、信一氏から社長を引継いだ。先代社長が多方面にわたって才能を発揮していたため、就任当時は非常に苦勞したという。

先代社長の経営理念を引継ぎながら、「会社を大きくするには、私個人の力だけでなく、私の不足部分を補う優秀なスタッフが必要で、経営陣と社員が両輪となって会社を動かすことが大事だ」と独自の経営手腕を発揮し、社員のモチベーションアップにも取り組んだ。

また田村社長は、次の世代へ交代する時は「企業の経営理念や社風を変えずすべて引継ぐ。社風や理念をこころ変えようと社員がついてこれない。私が交代するときは、今の理念を継承しないのなら、たとえ子であろうと社長の席を譲らない」とマネジメントに対する考え方を徹底している。

### すべての製品にGMP基準を適用

医薬品や医薬部外品の製造では、厳しい製造管理と品質管理の基準（GMP基準）が定められて



2009年に移転した大阪中央区の本社（上）

奈良県御所市の奈良工場（下）



おり、この基準に適合している工場と管理体制が無ければ生産できない。

同社では、医薬品や医薬部外品だけでなく、全ての生産品にGMP基準を適用している。これを可能としたのは、同社の最新鋭のハイスペックGMP工場のドリンク生産ラインである。同ラインは、1分間に800本、24時間稼働で115万本と日本有数の製造能力を誇る。このラインにパストライザーシステム（後殺菌装置）を導入し、医薬品だけでなく清涼飲料水をはじめ、あらゆる分野の製品の生産が可能となった。



最新鋭のハイスペックGMP工場のドリンク生産ライン

大規模な生産に対応するだけでなく、小容量、小ロットなど、多種多様な製品の製造にも応えられるよう400本/分ライン、200本/分ラインのドリンクラインも確立。中でも、最新鋭のミニドリンクラインは、大規模な生産ラインに引けを取らない高性能の機能を有し、あらゆる要望に応えられる生産ラインを構築している。

配合から洗浄に至るまで生産で使用するすべての水は地下60mから汲み上げた金剛・葛城山系の良質な地下水を使用。高度な水処理技術で精製しているため、目に見えない不純物の混入を未然に防止している。

さらに同社は、今後の業容拡大を見据え、2013年3月ホシエヌ製薬株式会社（奈良県五條市：顆粒剤・錠剤の製造）を完全子会社とし、医療用医薬品、一般用医薬品の両方の生産体制を整えた。

特に売上的大幅増に向けた原動力として期待している固形剤の受託を強化するため、奈良本店内

に固形剤開発技術室を新設し、提案型の受託製造を目指すほか、優れた溶出制御機能をもつ顆粒コーティング製造ラインを導入するなど、固形剤製造設備を強化している。

今後は固形剤の売上比率を50%まで引き上げ、液剤から固形剤と多様な剤形に対応する総合受託メーカーとして展開していく方針だ。



奈良工場に隣接する約550種の薬用植物がある田村薬草園

また奈良工場の隣に薬用植物が約550種ある田村薬草園を併設。ここでは奈良県特産の大和野菜や、山林開発により減ってしまった貴重な植物種も数多く栽培し、国内の薬草をはじめとする植物の保存と繁栄に大きく貢献している。

## 100年の大計

「経営者は社員のためにも上を向く」「あかんと思った時点で、進歩が止まる。努力を続けていたら必ずチャンスが来る。ただしチャンスは、日々努力を怠らない者にしか見えないし、近づいてこない。努力をしない者は何も掴めない」と田村社長は、老舗として生き残っている企業を模範とした「100年の大計」という企業理念を作り上げた。

「これからも『正・温・強（常に正しく、温かく、そして強く）』を信条とし、チャレンジ精神を忘れず、いつまでも若さを失わない、若い心を持った企業であり続けたい」と熱く語る田村社長。「熱い心」を持った人が集まる同社のさらなる飛躍が期待される。

（橋本公秀）